

健康福祉審議会	2023/6/19	資料3
第2回 障害部会		

令和4年度(2022年度)障害福祉サービス意向調査の実施結果について

1 目的

障害者の健康福祉サービスの利用実態や今後の利用意向を把握することを目的とする。

2 調査の概要

調査名	調査対象者	調査 標本数	有効回収数 (回収率)
(1)障害者調査	基準日（令和4年8月1日）時点で、身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している区民、及び難病等により障害福祉サービスを利用する区民。ただし、施設入所支援の利用者を除く。	1,500人	673人 (44.9%)
(2)施設入所者調査	身体障害者手帳、愛の手帳を所持している障害者のうち、基準日（令和4年8月1日）時点で、施設入所支援を利用している中野区の給付対象者。	175人	134人 (76.6%)
(3)発達支援等調査	基準日（令和4年8月1日）時点で、0歳から18歳までの発達支援の対象児童、および身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している児童。	650人	341人 (52.5%)

3 調査期間

令和4年9月20日～10月11日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 調査結果（前回調査：令和2年5月）

※前回調査結果と比較し、変化が大きかった項目

〈障害者調査〉

○住宅で困っていることは、「家が老朽化している」が42.0%で、前回より11ポイント

増加した。また、「バリアフリー」になっていないが25.0%で、前回より16.6ポイント減少した。(p.21 図2-7)

- 日常生活での介助の必要性の有無は、「はい(ある)」が43.8%で、前回より20.4ポイント減少した。(p.27 図3-2)
- 日常生活で介護を必要とすることは、「外出」が52.5%で、前回より14.5ポイント増加した。(p.28 図3-5)
- 現在の就労形態は、「常勤の会社員、公務員、団体職員」が40.3%で、前回より10ポイント増加した。(p.49 図5-5)
- 仕事や職場への不安や不満は、「収入がすくない」が58.6%で、前回より11.1ポイント増加した。(p.55 図5-12)
- ヘルプマークの認知度は、「ヘルプマークの意味も含めて知っている」が51.4%で、前回より9.3ポイント増加した(p.79 図6-18)

〈施設入所者調査〉

- 施設退所後の生活は、「家族やヘルパー、支援員などから介助(介護)を受けて生活したい」が24.0%で、前回より28.9ポイント減少した。また、「通所施設などに通いながら生活したい」が40.0%で、前回より34.1ポイント増加した。(p.106 図3-4)

〈発達支援等調査〉

- サービス等の利用状況は、「児童発達支援」が67.4%で、前回より51.1ポイント増加した。また、令和3年度から開始した「アポロ園及びゆめなりあの保育所等訪問支援」が45.7%で、第2位となった。(p.123 図2-7)
- 放課後等デイサービスの利用状況は、「はい(利用している)」が78.4%で、前回より23.9ポイント増加した。(p.145 図3-27)
- 保育所等訪問支援の認知度は、「はい(知っている)」が86.5%で、前回より14.1ポイント増加した。(p.155 図3-43)
- 障害児相談支援の利用意向は、「はい(利用したい)」が63.9%で、前回より11.1ポイント増加した。(p.166 図3-57)
- 充実してほしい施策・サービスは、「ペアレントトレーニング等の保護者支援」が55.1%で、前回より12.4ポイント増加した。(p.169 図3-61)